

平成 27 年 第 3 回 佐渡市総合教育会議 議事録

開催日	平成 27 年 10 月 26 日(月)	会場
開会時刻	午後 3 時 00 分	佐渡市役所 3 階 大会議室
閉会時刻	午後 3 時 55 分	
出席者		
市長 甲斐元也	教育委員会 委員長	仲川 進
	教育委員会 委員長職務代理者	仲川 正道
	教育委員会 委員	仲川 美紀
	教育委員会 委員	金子 眞理
	教育長	児玉 勝巳
説明のため出席した職員		
総務課	学校教育課	
課長 渡辺 竜五	課長 吉田 泉	
課長補佐 伊藤 賢治	管理主事 山田 裕之	
庶務係長 金子 高敏	課長補佐 北見 和子	
総合政策課	社会教育課	
人口減少対策室	課長 越前 範行	
室長 金子 聡		
傍聴人数	5 人	

会議に付議した議題

- (1) 大綱の策定について
- (2) 学校統合について

吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日はご多用の中、平成 27 年度第 3 回教育総合会議にご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので会議を開催させていただきます。なお、本日も会議を公開しておりますのでよろしくお願いいたします。 ・ 本日は佐渡市教育大綱の策定ということで、大綱の内容を中心にご協議いただきたいと思います。その後、現在進めております学校統合計画の状況等をご報告させていただきます。 ・ それでは議事の進行につきましては「佐渡市総合教育会議運営要綱」第 3 条第 2 項の規定により甲斐市長の方からお願いいたします。よろしくお願いいたします。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。どうもご苦勞様でございます。今日は 3 回目ということでございますが、よろしくお願い申し上げたいと思っております。 ・ 今日は、過去 2 回に渡りまして、佐渡市教育大綱、これをいろいろと皆様方からご意見をいただきながら修正に修正を重ねて今日 3 回目に皆様方に案として提案する訳であります。従いまして、今日は、この佐渡市教育大綱というものをこの「案」を取りたいというふうに思っておりますので、是非ご忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。 ・ それでは事務局の方からこれを説明願います。
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、よろしくお願い致します。8 月 18 日に行われました第 2 回でのご意見を受けまして修正したものを資料 1 として提案いたします。 ・ 前回と変更点を中心に説明をさせていただきます。まず「1 はじめに」です。1 行目のところ「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」という括弧書きの後ろに括弧を付けまして、短縮形の言葉を載せてあったんですが、これは必要ないだろうということで削除させていただきました。 ・ それから、基本的に数字の方ですが二桁の数字は半角で表記をするように統一した方がよいのではないかという意見があり、それらのようにさせていただきました。内容につきましては変更しておりません。 ・ 2 番 基本理念です。こちらについても第 2 回の時から変更しておりません。変更の意見も特にございませんでした。 ・ 3 番 基本方針です。学校教育、四角の枠の中ですが、「佐渡を知り、愛し、誇りとし、」の後ろにキャリアアップという言葉が入っていたのですが、もう少しわかりやすい表現がよいというご意見がありまして、教育委員と話し合いをしましてこのような言葉に置き換えさせていただきました。「社会的自立を目指す人づくりの推進」という形にします。それからこの後ですが、一つ一つの用語もしっかりチェックをしようということになりまして、県の教育振興基本計画やその上文部科学省の教育振興計画も参考にしまして、用語につきましてはその辺り統一したものをということでチェックをしました。そういう観点から、一つ目の白丸「学習意欲・確かな学力向上」の次です。「豊かな心・社会性の育成」というこの「の」という言葉、入れさせていただきました。

	<p>た。これは、文科省・県の用語がそのようになっていたので揃えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏面、2ページの方に行きます。〔社会教育〕です。一番最初の言葉ですが、「誰でも」という言葉を「誰もが」と変更しました。これも文科省から出ている生涯学習の資料の中に使われている用語がこのようになっておりましたので、それに揃える形としました。 二つめの白丸「対象を子どもから大人までのすべての佐渡人とし、」という表記があったんですが、佐渡人という表現がわかりづらいということで「市民」と一般的な表現の方がよいという意見で、「市民」ということばに置き換えさせていただきました。 3項目目です。〔家庭教育・地域教育〕。8月の提案では、〔家庭・地域教育〕としたのですが、家庭の後ろに教育という言葉を加えさせていただきました。 そして、四角の中は変わってありませんが、その下の白丸の一つ目「協力体制づくり」のところにつきましては、もう少し具体的に組織等を入れてわかりやすくしたらどうかという意見が教育委員の方からもありまして、そのような形で入れさせていただきました。「PTA連合会」と「子ども若者相談センター」等、他にもある可能性がありますので「等」としてそのようなところと協力するという形に変更させていただきました。 4番の「基本目標」につきましては変更点はございません。以上です。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい。今事務局の方から佐渡市の教育大綱について説明があったわけですが、また一つ一つですね皆さん方からご意見頂戴をしたいということでございます。 まず、一つ目ですね「はじめに」という項目がございます。これにつきましてはですね、皆様方からまずひとつご意見をいただきたい。一つずつやっていきたいと思っておりますので、「1 はじめに」についてご意見ございますでしょうか。いかがですか。お願いをしたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> (意見等なし)
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> この文案でよろしゅうございますか？
委員	<ul style="list-style-type: none"> はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい、ありがとうございました。 それでは、2のですね基本理念、「明日の佐渡を創る人、世界に羽ばたく人の育成～ 一人一人の自己実現を目指した教育の推進 ～」これを基本理念といたしますということでございます。この点についてはいかがでございませうでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> (意見等なし)
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> これでよろしゅうございますか？
委員	<ul style="list-style-type: none"> はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい。次に3番の「基本方針」であります。 〔学校教育〕につきましては、「佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立

	<p>を目指す人づくりの推進」というものでありまして、個々のものにつきましては、「○「学習意欲・確かな学力向上」「豊かな心・社会性の育成」「健康増進・体力向上」「キャリア教育」「教育環境の整備」等に取り組みます。」二つ目が、「○ 対象を幼保、小、中、高、大学生等とします。教育委員会と市長部局が連携して学校教育の充実に努めます。」というのが、基本方針の学校教育の部分であります、これについていかがでございますか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (意見等なし)
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これによろしゅうございますか？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。次、裏へ行きましてですね〔社会教育〕。「誰もが、いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進」一つ目が「○ 「自立」「協働」「創造」の方向性を実現するため、「支え合う人づくり」「地域の資源を活用した学びの充実」「生涯学習の環境づくり」「文化・スポーツの振興」等に取り組みます。」もう一個が「○ 対象を子どもから大人までのすべての市民とし、家庭・地域と学校・教育委員会等が連携して社会教育の充実に努めます。」という社会教育の部分であります、いかがでございますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (意見等なし)
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしゅうございますね？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、〔家庭教育・地域教育〕の部分であります、「家庭・地域がそれぞれの役割を適切に果たす家庭教育・地域教育の充実」という中におきまして、2点。1点目が「○ 家庭・地域の教育力を向上させるため、「小中学校PTA連合会」「子ども若者相談センター」等との協力体制づくりに取り組みます。」二つ目が「○ 対象を各家庭・各地域とし、教育委員会と市長部局が連携して、家庭・地域の教育の充実に努めます。」という家庭教育・地域教育の部分であります。 ・ これ、よろしゅうございますね？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。次に大きな項目の4、「基本目標」であります、これは当初から変わっていませんけれども、(1)の「学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進」から始まりまして、6番目の「家庭教育・地域教育充実のための取組の推進」のこの6項目でございますが、基本目標はこういう形で定めさせてよろしゅうございますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。それではですね、今日は3回目でございますので今までもいろいろなご意見を頂戴したわけでありまして、これを訂正しながら修正してこれまで来たわけでございますので、皆様方のご協力、まず憲法たるですね佐渡市の教育大綱につきましては、こういう形で定めさせていただきたいというふ

	うに思いますので、ご了解いただきたい、と思っております。そして、この佐渡市の教育大綱に基づきまして、今後の日程等について事務局お願いします。
吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> 大綱が本日決定しますと、その公表に向けた手続をさせていただきます。その後でございますが、4番の「基本目標」を具現化するために平成28年度には佐渡市の教育振興計画、社会教育と学校教育を合わせました基本計画を定めてまいりますので、その(1)から(6)を具現化する政策を盛り込んでいきたいと考えております。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> 今事務局の方から報告がありましたけれども、まずこの佐渡市の教育大綱というものをまず公表する。これが第1点であります。2点目は、今後のスケジュールになるわけですが、裏面の基本目標の6項目について具体的にどうしていくのかということでございました。いわゆる教育振興基本計画というものを作って行かなければならないわけでありまして、これを平成28年度末までに策定をすると、こういうことでございます。当然、この教育振興基本計画につきましても、教育部局・市長部局ここでそれぞれの課同士が横の連携を取りながらこれを作っていくということは間違いないわけですが、この日程等について皆様方の方でご意見・ご質問等ございましたらお受けしたいと思っておりますが、いかがでございますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> (意見等なし)
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> じゃあそういう日程で進めさせていただきたいと思っておりますので、また何日ということとはなかなか申し上げられませんが、その都度また皆様方からお集まりをいただきながら内容の検討をお願いするという場面がこれから多々出てくると思いますが、その際にはご協力をお願いしたいと思っております。 それではですね、まず今日議題の大綱策定について、これにつきましては、今…
仲川委員長	<ul style="list-style-type: none"> 大綱について、よろしいですか？
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい、どうぞ。
仲川委員長	<ul style="list-style-type: none"> 今お話しがあったように、3回目で大綱、案が取れた形なんですけど、何も異議はない賛成であります。これを5年間今後5年間ですね、具体的に実現していこうということでもありますので、いろんな面で各方面の共通意識を持ちながら具体的に推進させていかなきゃならん。課題もいっぱいあったんじゃないか、そう思っています。それはそれでいいんですけど。 ちょっと時間があるのかないか、この機会にですね、勉強させてもらいたいとか教えてもらいたいことが一つあるんですけど。大綱はこれでいいですよ。これで賛成とか反対じゃなくて。 この目標についてですね、以前もちょっと話題になったんですけど、本市のこの大綱は理念を掲げて、この理念を達成するための方針を掲げて、そして4番の目標になるとこういう流れで来てるんです。これはこれで皆さんそう

	<p>という格好でよろしいんですね。どうも気になるのは、学校には教育目標ってのが、(ここに校長経験者も何人かいらっしやるわけだけど、) ありますよね。教育目標を実現する為に、スケールの大きなことを目標として掲げますので、それを今年度はということで年度の重点目標として目標を掲げてですね、今年度は特にそのことに重点を置いて取り組みましょう、という重点目標を掲げます。で、その重点目標を実現する為に基本方針というものを掲げて、方針に基づいて具体的な取組・施策を掲げて進めていくというのが学校の流れなんですね。そうすると、本市の教育大綱は、理念を掲げてその理念を実現する為の方針を掲げてじゃあその方針をどんな目標立てて行くかという、ちょっと、いけないってわけじゃないんだけど違うわけなんだけど。異なってるわけなんですけど。で、各学校は、私も学校しか知らない男なんですけど、とかく何か迷うといろんなこと書き物を作る場合、じゃあ先ほどもあったように県はどのような流れで書いているかなとかね、市はどのような或いは文科省はどのように書いているかな、と参考にしながら書いているわけなんですけど。そうすると、学校の今の目標系列で言うと、その市の大綱の目標系列とちょっとズレがあるんですね。もしか時間があったら、校長経験者なんかその辺りどう、これ各学校の職員は意識していただける方もいらっしやると思いますんでねえ、多少お考えを聞かせてもらいたいなというふうにこう思っております。私は迷いがあるもんですから。</p>
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これ、県のものど国のものとはどうなってるんですか。この前もそういう話が出たのかもわからんけど。要するに並べ替え方ですね。
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の振興計画があったものを受けて、県はそれを参酌して作ると思います。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それは、わかるけど、これこれこれこれ。
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その、県のを参酌しながらまた市独自の計画がありますので、それを基に作っていくということになります。 ・ 今、委員長のおっしゃったようなその学校が教育計画を作る、実践していくためにめあてとなるものをというようなところで、この大綱等も当然この辺り参考にしてくると思うので。今のところ、その基本目標にある6つを柱にして政策の方を教育計画の政策を立てて行きたいなということは考えておりますが、その市の教育計画を立てて行く段階で、教育委員会の方でいろいろ案を出しながら一つの所へ絞って行きますので、その時またご意見いただければというふうに考えてます。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いやいや、今おっしゃるのはね、なんだか私も学校のことはわからんけども、学校の中で作られるものがあるわけですよね？その流れとこの流れが違うんじゃないのかっていうことを言ってるのでしょうか。そこさ。その時に、そう違うんだらうけどこの流れと県と国の流れはどう違うんですかっていうこと。わかりますか？意味が。
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県と国の流れは基本的に同じ…

甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> この流れが同じなんですか？
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> 県も国も。
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> はい。国が一番上にあります。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> それはそうだけでも。同じなんですか？
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> ここに資料があるんですけど、いいですか？
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい、どうぞどうぞ。
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> 国の方は、理念とか方針とかって言葉を使った項立てにはなっていません。教育振興基本計画に関して。県の方は、基本方針という言葉は出てくるんですけども、目標という言葉はないんです。その目標と方針の位置づけという点で言うと、そこら辺はこれと合わせているかということに関してははっきりしたことは言えません。ただ、2回目のこの会議の中で柱をこのようにしていくということは確認できたというふうに私は判断しておりまして、今日までこの柱で行かせていただいております。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> だから、これが悪いとかってということじゃなくて、これはこれで立派にもう案が取れたんだから良いんだけど、その辺の迷いとかね現場の先生方が作るものに対して、これを見ると流れが若干違う。で、迷いが生ずるんじゃないかという疑問なんですよ。
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> おっしゃることはわかるので、今度佐渡市の教育振興基本計画を作っていくにあたっては、一番上位に行くのが基本目標の6本柱となって行くと思いますので、これを基本目標という言葉で定めてその下位の言葉を決めて行く中で、同じような言葉を使うことによる混乱を避けるような表現は当然していかなければいけないかなというように思っています。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> で、その各学校で作っているそういうものは、教育委員会はどういうタッチの仕方で今までしてきたんですか？
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> 提出は求めています、それについてこういうふうに書きなさいというふうな直接的な指導はしておりません。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> 学校によってバラバラなんですか？
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> ある程度は決まっていますが、細かいところによってはバラバラです。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> その、ある程度決まっているのは教育委員会の方から何か指示を出している？
山田管理主事	<ul style="list-style-type: none"> 特にそういうことでは無いと思います。これまで作成してきたものを参考にしながら皆さん作っているという状況なので。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> じゃあ、今の問題は学校現場において若干の戸惑いが出てくる可能性が、今までのものとね。今までどおり作れば何の戸惑いも出ないんだろうけど、新たなものなんであって、それに比較をすると戸惑いも出てくると。可能性は懸念されるということですから、改めてね、教育委員会改革というものもこれあったわけでありまして、新たに佐渡市としてはこういう方向で進みますか

	<p>ら、ということをよく教育現場・学校現場の方に徹底をして、混乱のないようにしてください。これは皆様方の仕事として。お願いします。そういうことで、よろしくお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次にですね、学校統合についてであります。これは、誤解をしないでいただきたいわけでありませけれども、こういうふうに決まったということじゃなくて、今後お子さんの数が減少するということが考えられるわけでありませ。従いまして教育上ですね、この統廃合というのは佐渡だけじゃなくてこれどこでも出てくるわけでありませが、その考え方だけについて皆様方に今日報告をさせていただきます。ただ、これが決定されたというものではないということについては、そこはご注意ください。当然のことながら、統合するか或いは廃校にするとかいう事については、地元の方々のご意見を尊重すると。保護者の方々のご意見も尊重するということでありませ。そここのところはひとつ誤解をしないように。ですから、これについては今こんな状況でございませということについて報告をさせていただくということひとつ事務局からお願いします。
吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2でございませ。平成27年度学校統合に関しまし協議状況等ということでご報告させていただきます。 ・ まず1番目、国中地区4校の中学校統合ですが、統合計画上は4校を2校にするという計画です。これまでの経過でございませが、今年の7月13日から記載のとおり各学校のPTAの役員の方々に対しまして懇談会という形式で意見交換会等を行ってきました。その中でいただいた主な意見等につきましては、例えば真野中学校には今現在、専用のグラウンドがなく、陸上競技場を利用しているが使い勝手がよろしくないの、このまま生徒を受け入れる環境にはなっていないのではないかと。あと、中学校の統合になりますと自転車通学という可能性がございませるので、そのような安全な環境整備もなされていないのではないかと。あと、畑野・金井小の子どもについては既に小学校での学校統合を経験しておりますので、中学校でも続けて統合を経験させるということはいかななものかというご意見等がございませました。 ・ ちなみに、国中地区の4中学校の統合につきましては、平成29年までは後期統合計画の期間になっておりますが、それまでに統合をするという状況にはございませ。後期の学校統合が新たな学校を作り上げるという統合ではなくて、既存の校舎を利用しながら統合を進めていくということですので、当然生徒数の推移を見極める必要があります。平成30年4月の統合を目指していましたが、実際生徒数が多いと、学校の教室数が不足します。今現在の場所に増築するということはかなり困難ではございませるので、今後生徒数が落ち着いた段階で学校統合を進めていきたいということで、懇談会の中でご説明をして参りました。 ・ なお、国中の中学校統合の今後の進め方ですが、これまでPTAの代表の

方々にのみご説明・ご意見を聴取してきましたけれども、今後、11月になりましたら保護者・地区の方々にも広く意見聴取をし、教育委員会へ報告をしながら、最終的な統合の時期と統合の有無を含めまして、時期等が決定しましたら、各地区の方に今度はどこどこの学校を統合させていただきたいという説明に行かせてくださいという流れとなっております。

- ・ ちなみに特記事項でございますが、統合経験を配慮した場合ということで金井・畑野は既に小学校で統合しておりますので、その子どもたちが中学校においても学校統合を経験させないということになりますと、書いてあるとおり平成33年4月1日以降。なお、新穂・行谷につきましてはこの後ご説明いたしますが、小学校の学校統合計画がございます。ちなみに、小学校の学校統合が平成32年4月1日に可能になった場合ですが、そうしますと平成40年度以降にならないと中学校での統合を経験させないことができないと分かっております。
- ・ なお、2番目の課題としまして、真野中については平成36年の4月1日以降にならないと、統合の時期等はちょっと厳しいというような状況でございます。
- ・ 続きまして2番目、佐和田地区の3校の小学校の統合です。これについては平成25年度から実際統合に向けて説明をしております。これまでの経過でございますけれども、2ページ目をご覧ください。今現在ですけれども⑬に10月21日 河原田小学校地域の嘱託員等への説明会ということで行っております。それまでの経過は、佐和田地区の統合については河原田小学校に沢根小学校と八幡小学校を統合させるという計画、いわゆる吸収させるという統合ということで両校区に説明に行きましたけれども、両校区の総意としましては吸収する統合については反対という意見をいただいております。今後は、河原田小学校の方々に対しましてこれまでの吸収統合から新設統合、新設統合は新たな学校名等や校歌・校章も改める学校統合でございますが、このような統合に賛同していただけないかというご説明にこの後伺う予定でございます。今後の進め方につきましては書いた通りでございますけれども、河原田小学校の説明会を11月中に開催したいというふうに考えております。
- ・ 3番目の新穂地区の2校の小学校、これは新穂小学校と行谷小学校の統合で2校を1校にするという統合計画でございますが、今年の4月に両校の方に説明にお伺いをいたしました。内容につきましては、学校の規模及び新穂小学校が建築してまもないということでございますので、統合の方式は吸収統合というような方式と、これはまだ決定ではございませんけれどもそのような形になるということで、一応のご説明はしてございます。なお、先ほどの国中同様に生徒数が、今現在ですと教室が確保できないということがございまして、平成32年の4月1日以降にならないとこの統合も難しいということで、実際その統合を目指す場合は約3年前頃から学校統合の説明をいたしております。

ますので、おおむね平成 29 年度頃になりましたらその協議を再開したいという
ことで保護者の方々にご説明をしてきたところです。

- 一番下の特記事項でございますけれども、これは先ほどの国中の中学校の
統合に関連します。ちなみに、小学校で統合を経験した児童が中学校の統合で
再度経験することがないように配慮等をする場合については、平成 32 年 4 月
1 日にもし新穂と行谷がうまく統合できた場合、国中の中学校の統合につい
ては平成 40 年以降となるという旨説明をして参っております。
- 3 番目でございます。相川地区 3 校の小学校の統合でございます。金泉と
相川と七浦を 1 校にするというものでございますが、実は平成 23 年当時です
か、一旦統合について見送るといような決議がなされております。ちなみに
今現在の相川小学校の学校の校舎は、新たに今建築中でございますけれども、
実際そこに 3 校が全て入るとい規模の学校でございませぬ。従いまして、こ
れも教室数の不足が解消できる平成 32 年度以降の統合になるということ、
保護者の方々に説明をし意見交換をして参ったところでございます。その中
で主な意見等は、複式解消の目的や必要性の意味がよくわからない、あと津波
被害の危険性のある相川小学校に子どもを通わすことはできない、これは七
浦も金泉も比較的高台に位置しておるといことでこのような意見が出てお
ります。あと、統合は絶対に反対しますとい意見がございませぬ。
- 今後の予定でございますが、平成 32 年度の統合を目指すということになり
ますと、平成 29 年度以降から学校統合の協議を開催したいといことで説明
をして参ったところでございます。
- 5 番目でございますが、南部地区の中学校の統合でございます。南佐渡中
学校については昨年度 4 月に開校いたしました。その際、赤泊・羽茂・小木の
3 校を 1 校に統合するとい計画で校舎等建築を進めて参ったところでござ
いませぬけれども、今後の進め方一番下の (3) でございませぬが、実は赤泊中学校
につきましては、平成 24 年の 3 月の段階の南部地区における検討委員会にお
いて、赤泊中学校は今後 10 年間は統合には賛同できないといご意見をいた
だいておりますので、平成 34 年度頃から統合の協議を再開していきたいとい
うことを考えています。なお、参考ではございませぬが、小木のまちづくり協議
会の方から実はご意見がございませぬが、実際これまで旧市町村の垣根を越え
た学校統合は小木と羽茂が初めてであり、しかも小木地区からは中学校がな
くなったといふうな事情もございませぬが、一旦これまでの学校統合後の状
況等についてご説明をさせていただきたいと、学校との意見交換会等を設け
たいといご要望がございませぬので、9 月 24 日に意見交換をして参ったと
ころです。あと、補足の要望としましては小木の体育館の存続の要望も併せて
まちづくり協議会の方から提出されておりますので、これを社会教育課と協
議している最中でございませぬ。
- 最後でございます。4 ページです。両津地区の 3 校の小学校統合でござい

	<p>ますが、両尾、河崎、両津小学校を1校にするという統合計画でございましたが、最終的には両尾と河崎小学校の統合ということで今年の6月に正式に決定し、条例等を議決いただきました。今現在、今後の跡地の利用とかスクールバスの運行計画、あと来年度において河崎小学校も老朽化しているということで、来年大規模の改修を行いたいということでそのような内容の協議をこの後していく予定でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以上、後期計画の進捗状況等でございますが、現在教育委員会としての正式な決定を受けて統合計画の説明を進めているのは佐和田地区の学校統合と両津地区の小学校の学校統合ということでございます。以上です。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。現段階で、こういう長期の統合計画というものがあるということなんですが、ちょっと聞かせてもらいたいんだけども統合計画ができたのは平成18年でしょ？
吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ね。18年に前・後期を作って議会もその後3回代わってるんだよね。でしょ？
吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長も2人代わってるんだよ。で、その時のこの統合計画というものを、しかも社会情勢が変わってきている。或いは今回の佐渡市の教育大綱という新しいものを作った、そういう中においてこの18年に作ったものをどうしてもやってかなきゃならないのか、どこかで見直すということの作業があつていいのかな、その辺をちょっと皆さんの考えを聞かせてもらいたい。なんか、18年にできたからもうそれは憲法みたいなもので、変えるわけにはいかないなんて言う話になってくるとちょっとおかしいし、それから子どもの数の減り方とかなんとかつていうものから推測せんきゃならんと思うんだけどね、そういう見通しを立てて。その見通しだつて多分18年に作ってると思うけども、もう10年経ってるわけで。それがどう変化しているのかその辺のものの上で議論これからしていくのか、そこのところをちょっと聞かせてもらいたいんですけど。
吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年当時の策定では、保育園も含めて行財政改革の一環の流れに沿ってきたところであります。前期の統合については特に古い校舎等がありましたので、それを建て替えるという目的もございました。したがって、学校統合を理由とした学校建築というのが合併特例債の利活用等が可能になりましたので、前期の統合は間違いなく財政的なものによる側面もございました。ただし、後期の統合については原則今ある既存の校舎をそのまま利用していくという計画でございますので、いつまでに終了しなければならないという目的・時期は今のところございません。前期は合併特例債の期間という、限ら

	<p>れた期間でしたので、その辺の計画を進めて参りましたが、後期については今後、地方再生とか少子化対策とか新たな課題がどんどん出てきておりますので、この計画通りではなく市長を含め総合教育会議のなかでご意見をいただきながら進めていくのも一つの手ではないかというようには考えております。</p>
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういうことになれば、そういうものをもう 1 回出してそれから説明会をやるのかなんとかっていうことにしないと、おかしくなるんじゃないのってことを言いたいんです。18 年に作ったものをずーっとやってきて、これを本当に分析してるのかって言ったらわからんけども、それでは何も進歩がないんだよ。18 年に作ったものをそのまま机の上に置いて、担当が変わろうがそのままやってけばいいんだ。それは全く夢のない話であって、世の中も変わって来てるし多分減り方とかそういうものも当初 17 年か 18 年の見込みよりも急激になってるんでしょ。わからんけど。そういうのの見直しを、そういうバックデータの見直しをしながら、しかもこれからいろんなものがあるわけだからそういうものと合わせて 1 回この場で検討しなきゃならんんじゃないかと思うんだけど、その辺はどういうもんですか。 ・ 25-6 年に作ったって言うのならまだ話は分かるけど、10 年も前に作ったものだからその辺のことをもう一度せっかくこのこういう集まりができたわけですから、そういう重大な施策ってのはできないのかね。どうですか皆さん、その辺。
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。18 年の統合計画の見直す時期に来てるのかなと、今市長のおっしゃったように情勢も変わっているし、諸々の条件が変わってきていると思います。他の自治体の学校統合が喫緊の課題になっておりまして、住民・保護者の同意なくしては統合しないというなのもありますし、本当の危険校舎、優先的にこれは改修しなきゃならないというような課題を抱えている自治体もありますし、それぞれの自治体が抱えているものは違うんですけども、佐渡市がこれからどういう形で学校というものを考えて行くかということ、総合教育会議が開催されましたのでここで協議していくことが大事かというふうに思います。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ こういう総合教育会議ってのはさ、佐渡市が教育大綱作るためだけのものじゃなくて教育全般のことなんでしょ？
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうです。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ とすると、あまりにも 18 年に作ったものが、18 年に作るっていうことは 17 年くらいからバックデータ集めてるはずですよ。はっきり言って。10 年経ってるわけさね。その間にいろんな情勢が変わってきてるんじゃないかなあと考えておりますしね、合併当時ってのは地域審議会ってのがあったけどもあの議論ってのはほとんど果たしてないんだからね。その新しい地域づくり協議会みたいなものもぼちぼち出始めてるから、そういう人たちのご意見も聞く

	<p>ということもやっぱり必要だと思うんだけどね。その辺ちょっと皆さん、今日のこの事務局から説明したものについて、これについてこういう質問するなんてことはお受けしません。そういう意味じゃないもんだから。根本の方で皆さんからちょっとご意見をね。はい、どうぞ。</p>
仲川進委員長	<ul style="list-style-type: none"> 結論から言って、市長が意見を言われたことに大賛成なんですね。大賛成です。何がっていうと見直すっていう、考えに賛成です。先日の教育委員会でも今と同じように課長から説明を受けました。その時ですね、教育委員も当然当時と変わっている。メンバーも変わっている。保護者或いは地域の人の意見というか保護者も地域も変わっている。10年もたって大きく変わっている中で、私自身も市長と同じようになぜ統合が必要なのかということをしかりとしたものを我々が考えとしてもっていないといけないよねっていう話をさせてもらったんですけど、ただ今市長から話があったように10年前にこの統合計画があったからそれに従ってやってるんですけど言うだけじゃこれはちょっとよろしくないでしょ。理由にもならないと。しかりとした今の我々のこのメンバーでなぜ統合が今必要なのか、メリット・デメリットがしかりある、それぞれそんなことは皆わかっている。それプラス、地域の方々のご意見を当然加味する、考えていく、お受けするっていうのは当然大事なわけですから、ゼロとは言わなくても原点に立ち戻ってみて今現在の状況をしかり分析した後で、統合どうするのという流れに私はして行きたいな、そういう意味で私は基本的にはありがたいなっていう気持ちで聞いたんですけどね。そんな気持ちです。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい。統廃合の時期がね、35年とかさ40年とかっていう先の話なんですよ。そうしてくると、やっぱり我々としては市民とか或いは保護者の方々地域の人たちにね、やっぱり説明責任っていうのがあると思う。説明責任を果たすためにはやっぱり確固たるその根拠ってのが俺必要だと思うんですよ、ポリシーも含めて。それは佐渡市の教育大綱できたわけですから、やっぱりそのバックデータというものをもう1回精査をして、統廃合しなくていいっていう意味じゃないですよ。子どもの数が少なくなってるから当然この後もやらなきゃならんと思うんだけどさ。けども、そのやり方としてどうだかっていうことについて私もそういう気がするんですけど、他の先生方。ご意見を。
仲川（正）委員	<ul style="list-style-type: none"> じゃ、発言させていただきます。佐渡市が平成16年に合併して、恐らく教育の問題としては最重要課題の一つだったんじゃないかと思います。18年にこの統合計画が発表されたのを私も目を通させていただきました。いろんな手順を経て議会の特設委員会、検討委員会の意見も聴取しながらできた計画だなとその時は感じたことを今思い出しています。そこに表れていたのは、私は「危機意識」だと実は感じています。「危機意識」のベースになっているのが2つ。1つ目は佐渡市の行財政改革。佐渡市の資料を読ませてくださいと、合併当初500億あった予算が現在400億台になり、ごく近い将来に300億位

	<p>になっていく。その佐渡市の財政の中で、こんなにたくさんの学校を本当に立派に維持管理をしていけるのか。そのベースになるその思想ともう一つは教育の問題。教育環境の整備をその時の現状の学校数でできるのだろうか。当然、ある程度の理想とする適正人数とか適正クラスとかそういう思想がありますけれども、そういうものと佐渡の現状、あるいは近い将来の形が合致しているのかどうなのか。その2つの上に基づいて危機意識があり、非常に意欲的に意見を集約していただいた。そして、ほぼそれに従ってここまでやってきたということに対しては、まずこの最初に出た計画と、それを実現するために動いてくださった方々、あるいは理解をしてくださった地域の方々に、我々はまず敬意を表さなければいけないだろうと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この度、もう一度この18年の計画を読み直して参りましたがけれども、その6ページのところの小中の統合計画にはこう書いてありました。「今後の社会基盤の整備等により現在の状況が大幅に変化した時は計画の見直しも含めて検討することとします」と、こういう一言をしっかりと入れてありますので、これは非常に大事な文章であると。つまり、現在の状況が大幅に変化したかどうか、我々はいつもベースに考えなきゃいかん。平成18年に策定された時と、平成27年の今、或いは今後が変化しているかどうかということをしつかり考えて、そして先ほどの予算の話に繋がって行くわけですがけれども、しっかりとした相応の根拠に基づいて今後計画を推進する、あるいは延期する、あるいは中止する。まあ中止ということはちょっと考えられないかとは思いますが、何らかの形で改善の方向に向けた統合っていうのは必要になってくるだろうというふうに考えておりますけれども、しっかりと根拠を固めて進めていく、そして慎重に進めていく必要があるだろうと思います。 学校っていうのは、ただ単に建物ではないと私は考えていますが、ひとつのコミュニティの先進的な中核となる施設でありますので、是非地域の理解・協力を得ながら進めて行くことが大切だろうと考えます。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい、ありがとうございます。他、委員の方々ご意見聞かせてください。
仲川（美）委員	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年の時の計画は、今後の佐渡市の財政とかそれから児童・生徒の数とか耐震の問題とかいろいろ考えられて統合計画は立てられたと思うんです。なので、その前期の統合計画も進められてきたかと思うんですが、ここに来て後期の統合計画については実施が33年度とかまだ先のことについてなので、もう1回その見直しをしてどうして統合した方がよいのかってことを検討されて、地域とか保護者の方々に説明ができるように。そして、しっかり意見をお聞きして進められていった方がよいんじゃないかなと思いました。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> はい。金子さんはどうですかね。
金子委員	<ul style="list-style-type: none"> 私は小木地区に居りますので、平成26年度に統合しました羽茂中学校と小木中学校っていう初めて佐渡の旧行政区の違った、旧小木町・旧羽茂町の統合を丁度経験しました。自分の子どもは全て卒業はしてたんですがけれども、やは

	<p>り学校のなくなった側に住んでおりますので、未だにその統合による地域への学校、直接そこへ通っている子どもをもたない地域の住民としても未だに影響というものを感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合が必要であるかっていうところ、今皆さんがおっしゃったことに同意見なんですけれども、3ページの南部地区のところにありますように統合後の説明会を一部で開催というのがありますが、是非こういう統合を経験してどうであったかっていう検証っていうものが地域住民の中でも言われているんですけれども、統合前は何回も何回もここにも他の地区のものもありますけれども、懇談会とか説明会とかがいろいろ開催されます。皆さんそれを開催するごとに修正案を作ったりご努力をされて統合にこぎつけるわけなんですけど、一旦統合してしまうと今度はその統合したという既成事実があるせいか、なかなか「で、どうだったのか」とか「どういう不都合があったのか」「どういうメリットがあったのか」という検証がなかなかされないじゃないかなということを感じています。 ・ なので今回のこの計画されている説明会とかを是非有効に活用していただいて、今度後期で計画されているものも旧の行政区を跨ぐような統合が殆どですので、その中で生かして新たにこれから本当に必要とされているような形に学校を変えていくっていう事が必要なんじゃないかと。この説明会っていうものを有意義なものにしていただきたいなと思っています。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。まあまあ説明するというのは当然なんですけど、その世の中の今までのねお父さんお母さん方はね、今までのものを見ると情勢の変化はあってきた。それは説明責任をして行かなきゃならないんで、ここでもう一度おっしゃったように検証も含めてねバックデータを新たなものを作ってこの中で検討していくべきではないかというご意見だったものですからね、その辺についてはどうですか。当然地元の方は懇切丁寧にやることは当然なん…
金子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ あの、そのためにも一度現場に経験しないとわからないことってたくさんあると思います。なので、私ももう1回子どもの数であったりとか地域の特性だったりとかを考えて計画は見直すべきだと思うんですけど、そのためにもこれを一度皆さんで有効に活用するようにするのが一番かなと思います。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。教育長。
児玉教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。ぜひまた総合教育会議で検討していければと思いますし、併せて社会教育施設も島内いっぱいあるので同じような問題を抱えているものだと思います。そのところも併せてこの会議のところで方向性を示していければと。そのためのいろいろなデータ整えたり、いろいろな意見を聴取したりというようなこと私たちもしていかなければならないなと考えています。以上です。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。委員の方々のご意見はそういうことなんで、これから事務局としては今日総務課長も来ているけども、市長部局と一緒にしながらこの基本目

	<p>標の具体的なものは作っていくことは当然なんだけれども、それを合わせて今のこの統廃合の問題、教育長からあった社会教育施設等も入れながらよりよい教育の在り方というものでやっていかなければならないというご意見でありますのでね、これに今度総合教育会議に頭を切り替えてやりませんか。ね、やってください。そうすれば一つの方向ができてその上で市民の方々のご意見を聞くってということにもなるし。そういうことでひとつ、総合教育会議をです活発にして参りたいと思っていますので、またご協力をいただきたいと思っております。そういう意味では、今日は3回目でありますけれども佐渡市の教育大綱を決定いただいたということは1点でありますし、もうひとつは学校の統廃合につきましては今までの結果の検証をしながらさらさらこれからの情勢分析をしながらバックデータを整えていく、そういうものをこの総合教育会議の中で検討するということで今日集約をさせていただきたいと思っておりますが、よろしゅうございますか。それで。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、じゃあそういうことで。式次第からすると閉会なんだね。
吉田学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。
吉田課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日はご協議いただきまして、ありがとうございます。決定した大綱については、今後の公表に向け、手続を進めさせていただきます。また、学校統合についても多くの課題等がございます。事務局で今一度検証・バックデータ等を備えこの会議にご提案できるように資料等を整えて行きたいと考えております。 <p>本日は大変ありがとうございました。</p>
甲斐市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうもありがとうございました。